

# ずばりっ!



## 鈴木議員



**Q** :: 本町農業へのGPS普及について町の対応は。

**A** :: 将来的な方向性として、GPS導入の必要性は認識しているが、GPS機器の技術の進歩による基本性能の向上や低価格化も期待するところであり、現在の費用負担に対する効果を考えると、今すぐGPSの導入をすべきとの判断には至らない。

費用面（100万円〜300万円）、実用面（水田面積の小ささから効果が薄し）、除雪への応用は安全面から難しいなど困難性を主張された内容であった。  
GPSの技術は日々進歩している。今後の状況を把握しながら導入に向けた提案につなげていく。

## 西内議員



**Q1** :: 町長が考える町内外に発信していきたい本町観光の魅力は。  
**Q2** :: 雇用現場の人材確保、特に本町出身の子どもが町に戻って来られる取組みは。

**A1** :: 限定することは難しいが、「しんとつかわで心呼吸。」というキャッチコピーにあるように、まちの豊かな自然環境ときれいな空気の中でリフレッシュしていただけるよう、地域資源を生かしながら「農村」と「食」の魅力をアピールし、本町の観光振興を図っていきたい。  
**A2** :: 町内の農業、商工業、観光業、福祉関連事業などの雇用が安定して経営を続けていける事が大切。雇用の場を持続的に発展させるため、町の各種支援制度により、今後も町内事業者の支援を行っていききたいと考える。

「ゆめのむら」による観光産業活性化への期待は同感。今後は人の流れに着目した有形・無形の観光資源のつながりを工夫したい。  
子ども達を呼び戻す具体的施策が農業後継者対策としての視点に偏っている。福祉、保育等の雇用や地域の支え手確保の方策に、給付型奨学金制度を提案する。

## 白石議員



**Q** :: 農産物直売所の設置実現に向けた町の関わりは。

**A** :: 4月に新十津川町中小企業者応援条例を制定し、農産物直売所を新築した場合には最大500万円。地場産品を開発した場合には最大100万円の補助をする。  
これらの制度を活用していただき、町の商工業と農業の発展につながることを強く期待している。

ゆめのむら直売所に期待を寄せているようだが、生産者側の立場に立った直売所設置のあり方が見えてこない。  
ゆめのむらを含めた直売所設置のあり方について、町のコーディネートを求めている。

質問者

質問内容

町長答弁（要旨）

一般質問を終えて  
（質問者の感想）